

レジメン名

Pralatrexate

出典

実施部署区分

<input checked="" type="checkbox"/> 入院	<input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input type="checkbox"/> 処置
----------------------------------------	----------------------------------------	-----------------------------

対象疾患

末梢性T細胞リンパ腫
<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 補助療法(術前・術後) <input type="checkbox"/> 初発 <input type="checkbox"/>

投与減量の基準(30mg/m²→20mg/m²→投与中止)

Plt	5万/mm ³ 未満 (持続期間が2週間以上3週間未満(1回目)の場合)
ANC	500/mm ³ 未満 500/mm ³ 以上1,000/mm ³ 未満(発熱あり) (持続期間が2週間以上3週間未満(1回目)の場合)
粘膜炎	Grade2の再発・Grade3
その他	上記以外のGrade3の副作用

投与中止の基準

Plt(初回) (2回目以降)	10万/mm ³ 未満 5万/mm ³ 未満	ANC	1,000/mm ³ 未満
粘膜炎	Grade2以上		
その他	上記以外のGrade3の副作用		

1クール期間 49日

総クール数 PDまで

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1, d8等)
プラトレキサート(ジフォルタ)	30mg/m ²	NS30mL	5分	d1、8、15、22、29、36
プラトレキサート(ジフォルタ)投与日の10日以上前から、葉酸1.0~1.25mgを連日経口投与。 投与終了日から30日間は投与を継続。				
プラトレキサート(ジフォルタ)投与日の10日以上前から、ビタミンB ₁₂ 1mg/回を8~10週毎に筋注。 投与中は投与を継続。				
プラトレキサート(ジフォルタ)投与後24時間目より、ホリナートとして25mg/回を8時間間隔で6回服用を考慮。 投与中は投与を継続。 2週目投与以降は、前回投与時に口内炎があらわれなかった場合は15mg/回に減量。減らしたのち口内炎があらわれた場合は、1回25mgに再増量することが可能。 ホリナートの服用から次回のプラトレキサート(ジフォルタ)投与までの間隔は72時間以上あける。 ホリナートを服用する場合も、葉酸及びビタミンB ₁₂ の投与は必要だが、プラトレキサート(ジフォルタ)治療開始の7日以上前からの投与とすることができる。				
クライオセラピーの実施を考慮。 PDX-JP1試験では、プラトレキサート(ジフォルタ)投与開始5分前から投与後30分程度、全例で実施。				

1日投与順 (経時的にプレメタキソン・ポストメタキソン、 溶解液まで含む)
day1,8,15,22,29,36 ①グラニセトロン3mg/バッグ(15~30min) ②ジフォルタ30mg/m ² +生食(50)30mL(5min) ③生食50mL(フラッシュ用)
(支持療法) パンビタン末 2g/日 分1 ※ジフォルタ投与日の10日以上前から服用開始し、投与終了日から30日間は投与を継続。
メチコバル注 1mg 筋注 8~10週間毎 ※ジフォルタ投与日の10日以上前から開始し、投与中は投与を継続。
ロイコポリン錠 25mg/回 8時間間隔で6回服用 ※ジフォルタ投与後24時間目より服用開始。
クライオセラピー ※ジフォルタ投与開始5分前から投与後30分程度